

《循環器・循環器集中治療コース》

当院は心臓外科手術件数約 500 件/年、カテーテル件数約 600 件/年と、インターベンション約 130 件/年と国内有数の小児循環器施設です。近年は左心低形成症候群に対する肺動脈絞扼術と動脈管ステントを組み合わせたハイブリッド手術など、先進的な治療にも取り組んでいます。

＜研修内容＞

レジデントの皆さんには、主に病棟での心臓外科術前・術後の管理と外来患者の生理検査、そしてカテーテル検査・心臓 MRI 検査、PICU(8 床)・HCU(16 床)での循環器集中治療に携わってまいります。新生児患者に関しても、新生児科医とともに循環管理をしていただいています。カテーテル検査の経験数は豊富で、各レジデントには 1-4 件/週のカテーテル検査が割り当てられます(レジデント数に応じて数は変わります)。基本的には単独術者ですので(もちろん見守りはあります)、手技的な独り立ちは早く、卒業するころには BAS や Balloon、Coil 等も十分こなせるようになっていくことと思います。伝統的に単独術者としているのは、よく考えたうえで適切に判断が下せることを重視しているからです。その他に、カテーテルアブレーションも毎週月曜日に行っておりますので、不整脈に関する研修可能です。また近年注目を浴びている心臓 MRI に関する、日本一の施行実績がありますので、こちらの技術も習得していただくことができます。さらに、循環器集中治療科をローテートすることで、心疾患児の呼吸・循環・全身管理を学ぶことができます。朝夕の回診で多くの症例から管理のエッセンスを学ぶとともに、小児の循環器集中治療に必要な手技を身につけることができます。勉強会としては、火曜日の朝に心臓血管外科と共同で最近の英語論文抄読会をしています。当院は日本循環器学会専門医、日本小児循環器学会専門医、日本超音波医学会専門医の研修施設としても認定されており、先生方のキャリア形成を考慮して柔軟に研修内容を調整することも可能です。

＜レジデント数・スタッフ数＞

卒後 5-10 数年目のレジデント 6 人+ローテーションの後期研修医 1-2 名で病棟主治医を担ってまいります。指導医としては、小児循環器専門医 5 人が在籍しており、指導医は皆、優しく懇切な指導に定評があります。

＜勤務時間＞

朝 8 時から重症患者の回診が始まり、9 時から生理検査やカテーテル検査が始動します。これらの仕事は 17 時ころに終了し、その後に病棟業務等の個人的な仕事をこなす場合が多いのですが、頑張れば常識的な時間に帰ることも可能です(病院としては奨励しています)。循環器科オンコールが 3-4 回/月で、このときは担当患者以外の問題にも対応して頂くことがあります(主治医はある程度のことをオンコールに頼めます)。土・日・祝日の日勤/夜勤は月に 1-2 回で、主に一般的な 2 次救急(紹介患者の入院処置など)を担当します。このときだけは、循環器から離れて、一般小児科の知識をフル動員します。日勤/夜勤をこなした月は、平日に振替休がもらえますので、しっかりリフレッシュしてまいります。またリフレッシュ休暇としても 5 日間+前後の土日で 9 日間をとってまいります。

循環器科・循環器集中治療科一同、みなさんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

循環器科長 石川友一

循環器集中治療科長 山村健一郎

《総合診療コース》

総合診療コースでは、**MVP**を持つ人材をひろく募集しています。

当コースの **Mission** は、小児科医としてのスキルをあげ、地域医療（ここで言う地域には、福岡市はもちろんアジアを中心に世界を指します）と病院運営に貢献できる人材を育成することです。

具体的には（**Vision**）救急、感染症を中心に広い範囲の小児疾患の患者さんを診療しながら、子どもたちに標準的で質の高い医療を提供できるよう研鑽します。他科からのコンサルテーションや感染管理、医療安全対策に参加します。乳幼児健診、虐待対応、急患センター事業へ参加します。希望により、他診療科での短期研修の機会を調整します。臨床研究や治験を積極的に行います。海外での短期研修（タイ）のチャンスがあります。国内外での学会発表や論文発表を積極的に行います（来年はトロント？）。

小児科専門医未取得の先生へは、取得できるよう全力で支援します。

すでにサブスペシャリティ研修を終えた先生で、その強みを活かしながら子ども達のあらゆる問題に、幅広く対処したいと思っている方にも大いに活躍していただけます。

当コースでの研修期間は、日本小児感染症学会や日本アレルギー学会専門医取得のための研修期間に加算可能です。首都圏等の総合診療科や感染症科の先生たちと定期的に勉強会を行っています。

これらの実現のために、われわれは、日々小児科医であることに誇りと喜びを感じながら働いています。仲間に加わっていただければ、全力でみなさんのキャリアアップをサポートします。（**Passion**）



専攻医の指導をする1年目フェロー

研修例（2年コース）

	4月	10月
1年目	5西病棟（救急・感染症・アレルギー）研修	HCU研修
2年目	希望診療科短期研修	一般・ワクチン外来 集中研修 救急外来コントローラー 5西病棟で救急・感染症 呼吸器アレルギー

総合診療科卒業後の進路（まだできて間もないですが・・・）

- ・開業 5人、大学医局 3人、国立病院機構 1人、院内他科 1人、当科スタッフ昇任 2名

総合診療科長 古野憲司

《母体胎児コース》

当院は、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医認定施設で、小児専門病院としての特殊性を活かし、関連各科と連携してあらゆる胎児・新生児疾患に対応できる高度な周産期管理を学ぶことができます。また、胎児超音波スクリーニング、羊水検査、絨毛検査、母体血胎児染色体検査（NIPT）などの胎児診断や、双胎間輸血症候群に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術（FLP）、TRAP sequence（無心体双胎）に対するラジオ波凝固術、胎児胸腔－羊水腔シャント術、胎児輸血などの胎児治療の研修もできます。当院で管理する胎児疾患は年間約 200 例で、うち胎児心臓病は年間約 150 例であり、また胎児治療は年間約 30 例実施しており、数多くの胎児疾患症例を経験することができます。希望があれば、新生児集中治療の研修も可能です。（1年間コースでは3ヶ月、2・3年間コースでは6～12ヶ月）。

周産期センター長 中並尚幸

《新生児集中治療コース》

新生児集中治療コース（新生児科研修）は、新生児の全身管理（呼吸管理、循環管理、栄養管理など）と退院後のフォローアップを中心に研修を行います。新生児科ベッド数はNICU 21床、GCU 18床で、日本周産期・新生児医学会新生児専門医研修施設の基幹施設に認定されており、年間 400～450 例の入院があります。当院新生児科研修の特徴は、胎児治療例、超早産・超低出生体重児例、双胎症例、外科症例（心臓外科、小児外科、脳外科、泌尿器科、整形外科など）、先天奇形症例など様々な症例の主治医として診療していきます。そして、分娩立ち合いや病棟での集中治療を通じて新生児蘇生法や全身管理を身に付けていきます。1500g未滿の極低出生体重児は年間 50 例前後の入院があり、先天性心疾患は年間 120 症例前後が九州各県より集まり、術前術後管理を小児循環器科と連携して診療します。各専門診療科との連携も良好で合同カンファレンスが活発に行われており、学会発表は若手中心に行っていま

す。またドクターカーによる新生児搬送、三角搬送を行っています。臨床研究・論文作成は九州大学小児科新生児グループと連携して行うことが可能です。勤務は2交代制で行っています。胎児エコーを勉強したい小児循環器科医や、小児外科医、育児中で日勤だけ働きたい先生、外来フォローアップに興味がある先生、新生児在宅医療の研修に興味がある先生等、希望に合わせて勤務可能です。また周産期母体管理に興味がある先生は、母体・胎児の研修も可能（1年間コースでは3ヶ月、2・3年間コースでは6～12ヶ月）です。新生児の集中治療管理の枠を超えて研修を進めることも可能です。

新生児科長 金城唯宗

《胎児循環器コース》

胎児循環器科は胎児心疾患の診療に特化した診療科であり、胎児心臓病症例は年間180例以上、胎児心エコー検査は年間200件以上施行しています。当院は新生児心臓外科治療が可能な施設であり、左心低形成症候群・大血管転位症・大動脈離断/縮窄複合・内臓錯位に伴う心疾患など新生児期に心臓外科治療が必要となる重症心疾患症例が多いのが特徴です。その他、胎児不整脈の診断と胎児治療、胎児心疾患症例の周産期管理から生後の新生児循環管理など行っています。

胎児循環器コースでは、主に胎児循環器外来と産科病棟で胎児心エコー検査を実際に行い、先天性心疾患や不整脈の胎児診断と重症度の評価、分娩から新生児期治療への周産期プランの作成、胎児不整脈の胎児治療などを学んでいただきます。

胎児心エコー検査以外の時間は、NICU病棟にて先天性心疾患や不整脈の新生児症例の循環管理、周術期管理に携わっていただきます。当院NICUでは年間約130例の心疾患症例を扱っており、新生児搬送症例（院外出生）が年間約50例、1500g未満の超極低出生体重児の入院が年間約50例あり、関連各科と連携して院外出生の先天性心疾患症例や早産児の循環管理、周術期管理なども行います。

当院の研修で多くの胎児心疾患症例を経験可能であり、胎児心臓病学会の胎児心エコー認証医の取得もできます。また希望があれば、他の研修コース（新生児、循環器など）への参加や短期間の研修（3～6か月）も可能です。当院での胎児心臓病の研修を検討されている先生はお気軽にご相談ください。

胎児循環器科長 漢 伸彦

《小児集中治療コース》

小児集中治療コースでは、重症患者管理、周術期管理を各科と協力のもと行います。

救急患者の初期対応、人工呼吸管理、非挿管呼吸管理、循環管理、血液浄化療法、神経集中治療管理などが学べます。論文執筆、学会発表もサポートします。

集中治療科科長 鉄原健一